

コメント

1. インフルエンザ

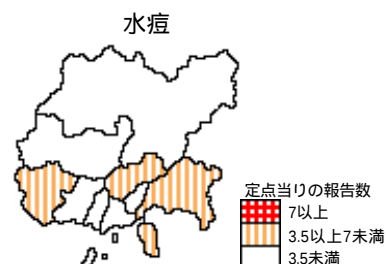
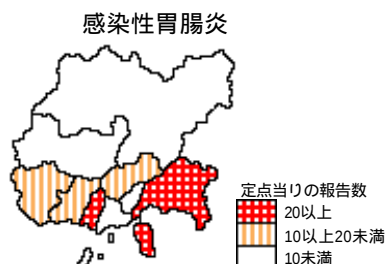
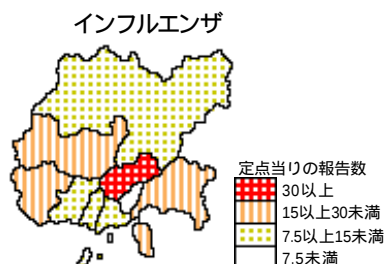
定点当り17.68人と急増しています。東区33.25人と特に多く、安芸区26.00人、安佐南区20.33人、佐伯区15.25人となっています。全国でも第50週に定点当り1.65人とインフルエンザの流行シーズンに入っています。

2. 感染性胃腸炎

定点当り11.96人とやや減少しています。安芸区26.50人、中区20.33人と特に多く、東区17.33人、西区12.33人、佐伯区11.33人となっています。

3. 水痘

定点当り2.46人とやや減少しています。東区4.67人、佐伯区4.33人、安芸区3.50人となっています。



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	654	17.68	0.08	↑	麻疹(注1)	-	-	-	
咽頭結膜熱	1	0.04	0.13		流行性耳下腺炎	31	1.29	2.00	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	1.79	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.13	
感染性胃腸炎	287	11.96	17.17	↘	流行性角結膜炎	7	0.88	1.38	
水痘	59	2.46	3.50	↘	急性脳炎(注2)	1	0.14	-	
手足口病	24	1.00	0.54	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.17		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14	
突発性発疹	23	0.96	0.75		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	-						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
 小児科定点数 24
 眼科定点数 8
 性感染症定点数 9
 基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く
 (注2) 日本脳炎を除く
 (注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
4	急性ウイルス性肝炎	1	11	男性(34歳)・A型

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A 群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパ ンギーナ	麻疹 (注1)	流行性 耳下腺 炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	急性脳 炎(注2)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミ ジア肺 炎(注3)	成人 麻疹
報告数	広島市	第49週 第50週 第51週	94 168 654	5 1 1	41 24 26	427 353 287	50 79 59	15 16 24	- 12 23	- 1 1	- 1 -	1 - 1	- - -	25 17 31	- - -	9 10 7	- - 1	- 2 -	1 2 1	1 1 1	- - -	- - -
定点 当り	広島市	第49週 第50週 第51週	2.54 4.54 17.68	0.21 0.04 0.04	1.71 1.00 1.08	17.79 14.71 11.96	2.08 3.29 2.46	0.63 0.67 1.00	- 0.50 0.96	- 0.04 -	- 0.04 -	0.04 - 0.04	- - -	1.04 0.71 1.29	- - 0.88	1.13 1.25 0.14	- - 0.14	- 0.29 -	0.14 0.29 0.14	0.14 0.14 0.14	- - -	- - -
	広島県	第49週 第50週 第51週	1.83 4.24 1.65	0.21 0.25 0.12	1.03 0.95 1.46	16.37 13.81 11.00	1.79 2.17 2.61	0.68 0.49 0.31	0.01 0.03 0.22	0.80 0.65 0.67	- 0.04 0.01	0.04 0.03 0.05	0.03 0.04 0.04	0.83 0.51 0.79	0.15 - 0.03	1.05 1.05 0.92	- - 0.00	0.10 0.10 0.02	0.05 0.14 0.05	0.14 0.29 0.24	- - 0.01	- - 0.01
	全国	第49週 第50週 第51週	0.60 1.65 1.65	0.13 0.12 0.12	1.50 1.46 1.46	12.42 11.00 11.00	2.15 2.61 2.61	0.35 0.31 0.31	0.24 0.22 0.22	0.74 0.67 0.67	0.01 0.01 0.01	0.05 0.05 0.05	0.04 0.04 0.04	0.86 0.79 0.79	0.05 0.03 0.03	0.94 0.92 0.92	0.00 0.00 0.00	0.03 0.02 0.02	0.03 0.05 0.05	0.28 0.24 0.24	0.01 0.01 0.01	0.01 0.00 0.00

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	13	女	南区	2002/12/10	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	14	男	西区	2002/12/12	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	14	男	西区	2002/12/12	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	11	男	府中町	2002/12/12	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	7	男	府中町	2002/12/12	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	3	女	東区	2002/12/15	鼻汁(拭い液)	インフルエンザA(H3)型
無菌性髄膜炎	8	男	安佐南区	2002/10/27	髄液	コクサッキーB2型
不明	14	女	安佐南区	2002/12/16	鼻汁(拭い液)	インフルエンザA(H3)型

(参考)インフルエンザの流行状況について (国の広報資料から一部抜粋)

平成14年第50週(12月9日～12月15日)の感染症発生動向調査でみると、定点あたり報告数が1.65(報告数7,753人)と流行の目安としている1.0人を上回りましたので、今年もいよいよインフルエンザ流行シーズンに入ったと考えられます。

流行シーズンに入った時期としては例年なみですが、昨シーズンに比べると1か月ほど早くなっています。ついては、以下の予防対策をお勧めします。

インフルエンザは空気中に拡散されたウイルスによって感染しますから、感染予防のためには、人混みをさけましょう。また常日ごろから十分な栄養や休息をとることも大事です。インフルエンザ感染の広がりには空気の乾燥が関連しています。室内では加湿器などを使って加湿しましょう。

外出時のマスクや帰宅時のうがい、手洗いは、普通のかぜの予防と併せておすすめします。

なお、詳細については、インフルエンザホームページをご覧ください。

インフルエンザホームページ <http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2002年第51週(12月16日～12月22日)